

議会だより

20号

〇災目指して放水始め!



平成 27 年新春出初め式の一斉放水

● 新年のご挨拶	2	● 一般質問	6
● 11月臨時会	2	● 活動報告	7
● 12月定例会	3	● 議会の動き・編集後記	12
● 常任委員会の動き	4		

新年のご挨拶

美浜町議会議長 藤本 悟



新年あけましておめでとうござ
います。

町民の皆様におかれましては、
清々しい新春をお迎えられました
ことを、心からお慶び申し上げま
す。旧年中は、議会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り
厚くお礼申し上げます。

さて、現在わが町では、発電所の長期停止等による経済情
勢の悪化、少子高齢化の中、私たちが「安心で快適に暮らせ
る町」を築くには、これからも更に多くの課題を乗り越え
ていかなければなりません。この厳しい社会情勢を乗り越
さらに発展させていくために美浜町独自の取組みを考え、協
働のまち、明るく住みよいまちづくりを推進し、町民の皆
さんの未来のために町がど
うあるべきかを議会一丸と
なって考えていきたいと思
います。

結びに、本年も町議会に
対し変わらぬご支援・ご指
導を賜りますようお願い申
し上げ、新年のご挨拶とさ
せていただきます。



平成26年 第7回臨時議会(11月10日)

◎議案第55号 専決処分の承認を求めること
について(美浜町診療所の設置及び管理に
関する条例の一部を改正する条例の制定)

美浜町東部診療所放射線防護対策工事
に伴い、工事期間中は仮設の診療所が必
要になるため、美浜町診療所の設置及び
管理に関する条例の一部を改正するもの
です。

◎議案第56号 美浜町福祉拠点化施設新築工
事請負契約について

契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億5854万4000円
契約の相手方 大邦産業株式会社
施設概要

気がかりな子どもへの早期支援体制
と療育体制の確立、生活支援サービ
スの拠点づくりを行い、福祉サービ
スの充実のための施設整備です。旧図書館を
解体し建設されます。なお愛称につい
ては公募により、「あいばる」と付けら
れます。2議案とも承認しました。

平成26年 全員協議会(11月10日)

①新コミュニティバスの運行計画の概要について
現在、コミュニティバスの運行について
は、「丹生線」、「日向線」、「新庄線」の3路
線が1日8便運行しています。利用者の利
便性向上と費用対効果の改善を図るために、



あいばる完成予想図(旧図書館跡)

朝の2便及び午後の2便は従来通り。それ
以外の便を予約型コミュニティバスで運行
する案です。料金は1人乗車につき300
円(12歳未満の旅客は100円、6歳未満
の乳幼児は無賃)で、予約対応の新バス停を
24箇所追加設置の予定。遅くとも平成27年
4月から試行運転の予定です。

②安定ヨウ素剤事前配布について

美浜町は昨年8月に地域防災計画を改定し
ており、県内の発電所を起点としてPAZ
(概ね5km圏内)に安定ヨウ素剤を配布し
ます。対象地区は、丹生・竹波・菅浜・けや
き台(丹生)。住民説明会を開催した後、12月
10日から順次配布になります。服用は、原子
力規制委員会の指示によります。(松田記)

12月定例会 (12月4日～18日)

平成26年度一般会計補正予算等11議案で、予算に関わる6議案を予算決算常任委員会に付託し、3議案を総務文教常任委員会に、1議案を産業厚生常任委員会には付託しました。なお、請願1件、継続審査2件の意見書提出要請があり、関係常任委員会に付託しました。

平成26年度 一般会計12月補正予算概要

予算規模	補正予算額	7,410万円	補正後予算総額	69億4,812万円
------	-------	---------	---------	------------

◎歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	予約型コミュニティバス運行に係る準備等経費	238	PR番組・チラシ作製・バス停留所標識購入 他
民生費	障害者訓練等給付事業	566	共同生活援助・自立訓練利用者が増えたことによる負担金増
衛生費	診療所事業特別会計繰出金	631	バリアフリー対策工事・人件費補正(異動・人勤)
農林水産費	有害鳥獣対策事業	1,881	有害鳥獣捕獲報奨金増・有害獣焼却処理施設使用負担金増
	農地中間管理機構集積協力金交付事業	1,831	地域集積協力金(1地区/27.8ha) 経営転換協力金(3地区/23戸)
商工費	企業的園芸確立支援事業	330	休止中植物工場の再操業に向けた設計費の補助
土木費	町単小規模土地改良事業	1,075	降雨等による用排水路の堆積土砂除去、農地法面復旧等工事費(33ヵ所)
	集会所耐震診断事業	301	集会所耐震診断補助(3施設)
教育費	小学校再編推進事業	1,122	校章改修工事、校旗等購入費 他
	ルービンシュタイン国際ピアノコンクール入賞者ガラコンサート	54	出演者旅費、広告料等
災害復旧費	農業用施設災害復旧工事	84	有害獣侵入防止柵復旧工事(2ヵ所)

●平成26年度一般会計補正予算

〈総務費〉

予約型コミュニティバス運行準備費

ケーブルテレビ向け利用PR番組・チラシ等の作成費及び、新設バス停留所標識購入費他。

〈民生費〉

障害者訓練等給付事業

共同生活援助・自立訓練利用者に伴い負担金の増。

〈衛生費〉

診療所のバリアフリー化

東部診療所のトイレ改修及び、スロープ設置等バリアフリー化を行う。

〈農林水産費〉

有害獣の捕獲増

有害獣捕獲増に伴い、捕獲奨励金、焼却施設持ち込み使用負担金が増加。

農地中間管理集積協力金の交付

地域集積協力金1地区:27.8ha、経営転換協力金3地区:23戸を交付するもの。

漁港護岸整備

和田漁港護岸の補修整備

〈商工費〉

企業誘致の企業への支援

休止中の野菜工場の操業に向けた設計費の補助。

〈土木費〉

町単小規模土地改良事業

降雨時による用排水路の堆積土砂の撤去。農地の法面復旧等の工事(33箇所)。

集会所耐震診断事業

町内集会所の耐震診断を行い、今後集会所維持について検討を行う。今回、金山・興道寺・河原市の3集落が対象。

〈教育費〉

小学校再編推進事業

平成27年度小学校再編に伴い、校章の改修、校旗等の購入他。

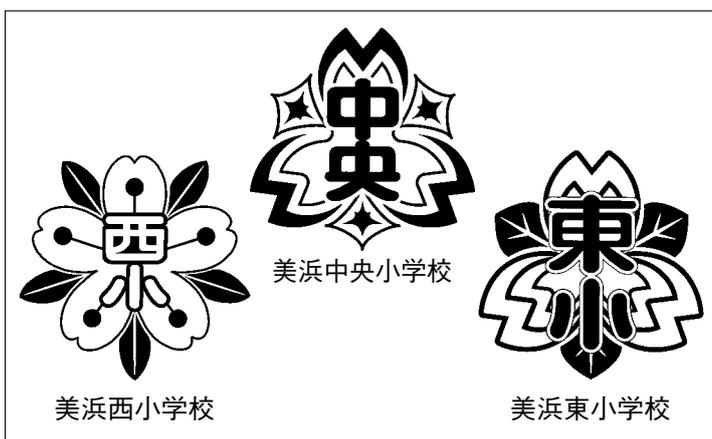
ルービンシュタイン国際ピアノコンクール入賞者ガラコンサート美浜で開催

出演者の旅費及び広告等。

〈災害復旧費〉

農業用施設災害復旧

台風11号で、有害獣侵入防止柵土砂流入を撤去(2箇所) (松田記)



決定した各小学校の校章

常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

予算決算 常任委員会

付託案件6件

◎議案第58号 専決処分の承認を求めることについて(平成26年度美浜町一般会計補正予算(第6号))

◎議案第59号 平成26年度美浜町一般会計補正予算(第4号)

問 バス停の設置について、バス停を設けるにあたり、許可はどこがするのか。また、設置にあたっては広く住民の意見を求めたのか。

答 バス停については、公共交通会議で認可を頂いて、最終的には運輸支局を聴き、要求通りにバス停を設けるということは出来ると思うが、そうなるという運行がでなくなることも想定される。ワーキンググループにも意見を聞きながら、実態を把握し、ベストだという所を選定させて頂いたと思う。JRのダイヤと関係もある中で、いろいろな事を全て勘案しながら、業者と決めた。まずは、試行運転期間でニーズ調査をしながら、次につなげて行きたいと思っている。

問 衛生費の中で、一般可燃物用ゴミ袋の苦情が多くある。業務用ゴミ袋についての苦情はないということなので、交換するなり、回収するなど、速やかな対応

が求められる。

答 業務用ゴミ袋は環境衛生組合で、それ以外の収集袋は町で作っており、すべて平成25年度に従来通りの規格内容で入札を行った。しかし、10月ぐらいから苦情が出始めた。今業者と詰めているので、原因究明と対策について時間を頂きたい。

問 近隣市では透明のビニール袋が一般的で、強度もあり安い。ゴミ袋はすべて環境衛生組合に一括して取り扱いを任せたらどうか。

答 ゴミ袋値段の問題については、焼却炉のダイオキシン問題があり、これを配慮した焼却炉にしたが、焼却単価が高つくいくらかでも袋代で負担してもらおうという考え方もあった。ゴミ袋については、環境衛生組合で取り扱ったらどうかという提案を頂いたので、環境衛生組合で議論したいと思う。

問 嵯峨隧道の工事内容は。

答 近年、豪雨により大雨が降ると水月湖が増水し関連道路も水没する。嵯峨隧道までいけない状態なので、レインボーラインから嵯峨隧道へ下がる階段をつける工事を行う。若狭町が工事主体となって県で半分、残り半分を若狭町と美浜町とで折半する。

問 以前、大きな増水時に水門を開けた経緯があった。その際、出てきた案として、水月湖を抜くという話があったと思うが、進んでいるのか。

答 日本海側に抜くという隧道については、現在進行している。事業主体が若狭町で行っており、日本海の食見側に流すという事で、漁業組合の了解は得られたそうである。現在、国の認可待ちという状態で、ペースは遅いかもしいないが、抜くという方向で若狭町長から聞いている。

◎議案第60号 平成26年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第61号 平成26年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

◎議案第62号 平成26年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第63号 平成26年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

以上の審査を終了し、6議案を承認しました。(松田記)

総務文教 常任委員会

付託案件3件

◎議案第64号 美浜町コミュニティバスの運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 利用者の乗り継ぎの場所と料金はどのようになるのか。

答 町内の目的地には、時間帯に応じて必要な場所での乗り継ぎが出来る。



現在のコミュニティバス

産業厚生常任委員会 視察研修

平成 26 年 10 月 29 日、30 日に委員会の視察研修に行きました。29 日は岐阜県笠松町、研修内容は「空き家対策について」。笠松町では空き家になっている家屋などの所有者に適正な管理を義務付けるとともに、改善されず放置され危険な状態にある場合は、行政代執行を行うことも視野に入れた条例です。美浜町においても早急に対応しなければならない時期に来ていると思います。



産業厚生常任委員会視察の様子
(岐阜県笠松町)

30 日は愛知県飛島村、研修内容は「健康長寿について」。健康増進法に基づく健康教育における知識の普及・啓発の説明を受け、トレーニングルーム、温水プールを視察しました。飛島村では 90 歳になると 20 万円、95 歳で 50 万円、100 歳で 100 万円のお祝い金を出すというのも健康長寿に対する特別な施策だと思っています。(崎元記)



D-1 トレンチ現地視察の様子

乗り継ぎには、運転手が発行する「乗り継ぎ券」を受け取り無料で乗車できるが「乗り継ぎ券」は 1 回しか使用できない。

問 区長や住民に対してのコミュニティバスの説明はこれからののか。

答 利用者の意見は、ワーキンググループでアンケート調査を行い、各種団体や集落での意見を反映させてきた。平成 27 年度でバス停設置の許可が出たら、試行運転に入り様々なニーズ調査を実施し、3 月までに住民に PR を行い、町民の声が反映出来るようにしたい。

問 運賃料金を 200 円から 300 円以内に値上げするのはなぜか。

答 値上げは、タクシー・民間業者の経営を圧迫しないように配慮した。また消費税が改訂された事で、これまでバス料金は据え置きになっていたので、今回 100 円上げさせて頂いた。

問 コミュニティバス定期便では、新庄小学校付近バス停から松屋、奥までの乗り継ぎは出来るのか。直接行けるのか。

答 バスの路線距離は、約 28 キロあり 1 時間内で全バス停には止まらない。松屋・奥まで行くのは難しいので、今後別途区長と住民の足を確保出来るように協議したい。また浅ヶ瀬までは延伸できるように検討している。

議案第 65 号 美浜町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 66 号 美浜町立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について

問 現在、校長が兼務しているが館長は誰がすることになるのか。

答 小学校が廃校になると、新たに館長を任命することになる。以上の審査を終了し、3 議案を承認しました。(川畑記)

産業厚生 常任委員会

付託案件 1 件
請願 1 件
意見書審査 2 件

議案第 67 号 美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 出産一時金の支給額が、40 万 4 千円になった理由は。

答 全国一律に 40 万 4 千円になった。加算額は、産科医療制度の見直しにより、1 万 6 千円とされた。

以上の審査を終了し、1 議案を承認しました。

請願第 3 号 子ども医療費助成制度の窓口無料化についての請願

不採択。

軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情

主旨採択。

手話言語法制定を求める意見書

主旨採択。

(野瀬記)

現地視察「日本原子力発電所」12月12日

日本原子力発電所の 1・2 号機敷地内の破砕帯調査現場を視察しました。D-1 トレンチ(試掘調査)現場は、4800m²の広さで深さが 44m ありました。各断層が確認でき、その中に浦底断層と D-1 破砕帯も確認できました。現地で破砕帯の活動時期の詳細説明を受けました。

続いて、敦賀発電所 3・4 号機建設予定地の準備工事現場を視察しました。進捗状況は、防波堤護岸の工事と敷地造成(約 27 万 m²)、と追加準備工事が完了していました。3・4 号機については現在未着工ですが、今後国におけるエネルギー政策、安全規制に係る状況を踏まえながら進めて行きたいと言う事です。(川畑記)

質 問

12月定例会では3人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いました。



河本 猛 議員

原発問題について

問 安定ヨウ素剤を服用する緊迫した事態が起きた場合、5キロ圏外には放射性ヨウ素の影響がないと考えているのか。

町長 5キロ圏外に影響がないとは考えていない。

問 被曝から住民全体を守るには、距離による不平等な対策にとどめるべきではない。最低限の対策として、町内全域に安定ヨウ素剤を配布するべきである。

町長 5キロ圏内を事前に配布し、5キロから30キロ圏内の方は、避難命令と同時に配布するのが良いと思っている。

意見 そのような姿勢で被曝から住民を守るのか疑問である。

地域経済の対策と人口問題

問 消費税増税による消費不況というのは町の経済にも深刻な打撃を与える。どのような経済対策を考えているのか。

町長 地元の消費拡大については、今後もわかさ東商工会、商工振興会と協力して事業展開を行っていききたい。

問 人口の維持、増加に必要なのは、まず安定して働ける場所が存在することである。その中で、若い人たちが結婚して、安心して子供を産み育てるという社会環境を整える必要があるが、町の対策や将来展望を伺う。

町長 産業団地の早期の完成、企業誘致を積極的に推進し、さらに子育て支援を充実していく。

ごみ袋の品質について

問 住民の方々から「ごみ袋がすぐに破れる」などの苦情を受け、私も実感しているが、行政側も苦情の実態について伺う。

環境課長 原因を確認して対策を講じており、若狭町と一緒に取り組む。無償で交換することを行政チャネルやホームページで周知する。

利用しやすい役場を目指して

問 「和式トイレでは、足の不自由な人には使いづらい」と住民から指摘を受けてきた。平成26年度予算には庁舎の東側5カ所の和式トイレを洋式トイレに改修するとして工事費が計上されているが、その進捗状況を伺う。

総務課長 庁舎の東側トイレ5カ所を温水洗浄つきの洋式トイレに改修する。去る11月26日に入札を実施し、できるだけ早期に完成するように手配している。



浜野 健治 議員

総合振興計画は 広く町民の声を集約する

問 第5次美浜町総合振興計画は具体的、定量的な目標を定め、現状とのギャップを埋める施策が必要と考えるが。

町長 多様化する町民のニーズを十分反映して基本構想を決めていく。長期的な10年の計画を5年ごとに区切り、前期後期として達成度を高めて行く。

問 原子力政策、TPP交渉、少子高齢化等、社会情勢は不確定な部分が多い。財政計画が脆弱な環境でどのような施策を指示するのか。

町長 第4次美浜町総合振興計画の将来像「自然かがやき 人いきいき 町がにぎわう 美し美浜」は適していると考えている。全体計画は、審議会に諮問しており広く住民、団体、職員の知恵を結集できるように、専門部会、策定委員会、審議会を通じて完成していきたい。

問 地方創生(まちひとしごと)を活かした町の活性化のため内部の人材育成、外部からの人材活用が必要と考えるがどうか。

町長 町の施策は残念ながら国と直結していない。県を仲介することになるが総務省の施策を遅滞なく、町に流していただくことを県に申し入れている。又、

県内の各大学から指導的意見、専門的意見を頂いていく。さらにサマー座談会で中学生からの意見も参考にしていきたい。

佐柿を伝統的町並み 保存地域に申請

問 美浜町に町並み形成をする必要があると考えるが。

町長 平成23年度に策定した「美浜町都市計画マスタープラン」を20年をひとつの区切りとして推進していく。

土木建築課長 商業圏は郷市から河原市地域を、歴史保存地域として佐柿、国吉城を基点として考えている。さらに町内の案内看板を整備していく。

問 町内道路の将来計画は。

町長 国道27号線の歩道拡幅、右折ゾーンの整備を実施している。新庄から高島市へつなぐ道路は嶺南広域行政組合で認知してもらっているので優先度を上げて行きたい。

明朗、活発、思いやり

問 小学校を再編した後、どのような美浜っ子を育てるのか。

教育長 学力向上を柱として明るく、活力があり、相手を思いやる子供を育てて行きたい。さらに、教育支援を充実し、どの子も同じように伸びていくように育てて行き、学校間差をなくし、中学校につなげて行きたい。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しております。



辻井 雅之 議員

学校の閉校行事と 備品等の処理について

問 4月に迫った小学校再編に伴う「学校の閉校行事や記念式典」はどの様に行われるのか。

町長 小学校再編に伴う小学校3校体制の準備は進んでいる。それぞれの学校で地域の特色を出して、住民も一緒にやっての行事を計画している。

学校教育課長 閉校行事は、各学校ごとに、区や実行委員会を中心に計画される。閉校式は町の主催で3月中旬に7校とも実施される。

問 廃校となる学校の備品や従来からの貴重品等はどうするのか。

学校教育課長 備品は学校間で調整している。最終的には使えない物は処分し、使える物は公共施設等で有効に活用する。また貴重品は、保存管理する方向である。

地方教育行政の改正と

英語と道徳の授業について

問 来年度から教育委員会の組織や運営はどの様に改正されるのか。

学校教育課長 現、教育委員会では緊急事態に対して迅速で抜本的な対策や対応が取れないため改正するもので、ポイントとして、教育長と教育委員長が一本化され、責任の所在が明確になる。新教育長は町長が任命し、任期も4年から3年となる。総合教育会議も設置され、教育方針や生徒自身の命や心体論も協議される。

問 英語と道徳の総合授業は今後どの様に移行されるのか。

学校教育課長 英語は1・2年生が年に3時間、3・4年生が10時間、5・6年生は35時間授業を行っている。英語は5年後、道徳は3年後からは一般教科となる文科省の方針が示されている。

多目的屋内運動場の用途と 施設の施行要望について

問 屋内ゲートボール場に関わる多目的屋内運動場の建設に至る経緯は。

町長 議会陳情もあり、すでに採択決議されていたが、保育所、小中学校の新改築を優先し、ようやく完成を見たので、建設に着手する事になった。

問 平成28年度完成予定の多目的屋内運動場の用途はどうなるか。

生涯学習課長 ゲートボール(4面)がメインとなるが、ニュースポーツやイベントも可能な施設としたい。

意見 プレイヤーのみならず、控え選手や観客も一緒に楽しめる様に観覧席や充実したトイレなどの設計施行をお願いする。

平成26年
全員協議会(12月16日)

原子力緊急事態支援組織 拠点施設(原子力レスキュー)

東日本大震災による福島原子力発電所事故を教訓に原子力災害時における緊急支援が出来る施設の整備です。放射線量の高い現場等で、遠隔操作のロボットや重機を用いて緊急事態対応を行います。

場所は久々子の県園芸研究センター(園芸試験場)の敷地内で準備工事が始まりました。

事業主体は電気事業連合会が行い、研究技術者が従事し、偵察・計測用ロボット(地上・空中)や作業用ロボット(除染・がれき撤去)の技術開発・作業訓練が行われます。

緊急時のヘリポートも計画されています。

し尿処理施設の 移転について

同じく、県園芸研究センターの敷地内にあるし尿処理施設(美浜・三方環境衛生組合管理)が建設から24年がたち、老朽化と先に記述した原子力レスキュー施設建設に伴う代替地に当てるため、松原の浄化センター北側(ゆうあいひろば裏側)に移設する予定です。

新施設は浄化センターと一体的活用も可能となり、維持管理費の節減にもつながります。処理能力は1日21kl、バキュームカー対策や脱臭環境対策も講じられます。



移転される し尿処理施設

ノーマン野菜工場を誘致

大藪地籍にある野菜工場を新たに活用し、(株)NORMANN(ノーマン)が、県の助成も得て事業を行う事になりました。関連会社の実績と生産技術で結球レタスをメインに栽培・販売する会社で、平成27年12月に本格稼働を目指しています。議会でも新会社の社長と親会社の社長から、将来の事業計画等の意気込みを確認しました。今後は町の新世代農業ビジネスの貢献に期待したいと思います。(辻井記)

議会と語るろう会

【議会と語るろう会 1班】

災害人命を第一に

【雲谷区 参加者8名 10月26日】

バスのデマンド化、有害獣対策に関する意見がありました。

また、大雨による災害復旧に関して、「災害が小さい所は工事が後回しになってしまふ。放置していると大きく崩壊することもある」という意見がありました。ご意見は行政側に伝えて回答を求めています。

行政側からは、「確認の上、早急に対処致します」という回答を得ました。

議会も住民の意見や地域の要望を詳しく知りたいと考えております。住民のみならずまとの対話を災害復旧や将来の町づくりを活かしていきます。

【興道寺区 参加者7名 10月24日】

河川や排水路の堆積土砂撤去等の土木関連、空き家の利活用に関する意見、興道寺遺跡に関する意見がありました。

また、危険個所に信号機を付けてほしいという要望がありました。

私たちも、農業センター前の十字路は、十分危険であることを認識しています。人命事故が起こる前に早急に対策を講じるよう要望していきます。(河本記)



議会と語るろう会の様子 (雲谷区)

【議会と語るろう会 2班】

地域に出張り議会がみじかに

【笹田区 参加者12名 10月23日】

議会より9月の議会報告をし質問・要望を聞かせて頂きました。地元から久々子湖の水上バイク問題、釣り客のゴミ問題、レークセンターでの販売に地元の産品を置けないのか、また船の中での観光ガイドが歴史的に間違いがある・中学校のスクールバス利用条件等の意見を頂きました。

さらに飯切山の信号交差点付近の湖側のガードレールを付けて欲しいとの要望があり、担当課に尋ねたところ 後日県から26年度中に設置の方向で進めたいとの連絡がありました。

【北田区 参加者9名 11月1日】

いつもの様に議会より9月議会の報告をし、質問・要望をお聞きして 話し合

いをさせて頂きました。
コミュニティバスの運行路線について、ゴミ焼却場への持ち込み料金に関して、有害獣対策の恒久柵、さらに人口減少問題やエネルギー環境体験教育施設の内容等についてたくさん話し合いをさせて頂きました。(山口記)



議会と語るろう会の様子 (北田区)

【議会と語るろう会 3班】

企業誘致と、企業育成を

【小三ヶ、麻生地区 参加者12名 10月25日・29日】

第3班の「議会と語るろう会」は小三ヶ、麻生地区の耳川東岸の集落で開催されました。議会側から9月補正予算概要、エネルギー体験施設、美浜町農業基本計画策定計画、多目的屋内運動場の内容報告の後、意見交換を実施しました。各集落の共通点は多く、主な意見とし

て・町内人口規模に対して贅沢とも思える施設の利用状況と今後の維持管理について・企業誘致と平行して、現存する企業育成の重要性について・豪雨のたびに氾濫、濁りを発生する耳川の根本的な補修と再生について・美浜発電所の状況と安全対策、避難経路について・更に耳川沿いの県道を滋賀県高島市に繋ぐ提案等、美浜町の行政、議会に大変重要な課題について意見交換が出来ました。今後の活動に活かしていきたいと考えています。(浜野記)



議会と語るろう会の様子 (麻生区)

議会と語るろう会のお知らせ
町議会では「開かれた議会」を目指し、皆様に議会での審議内容を知っていただくため1月・2月にかけて「議会と語るろう会」を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

議会活性化 特別委員会

議会と語ろう会開催

ご協力に感謝

議会活性化特別委員会では、改選後の新メンバーになってからも、これまでの取組み・流れを受け継ぎ、一年間活動の強化に努めてまいりました。昨年度から始めた『議会と語ろう会』では、開催各集落の区長はじめ参加者皆様方のご協力も得て、順調にスタートさせて頂きました。今年度も6月定例会・9月定例会後に計画を立て実施させて頂き、お陰さまで18集落において開催する事が出来ました。ご協力頂きました関係者の皆様方から感謝申しあげます。

『語ろう会』では、各集落からの質問・課題・要望等、内容によっては関係集落へ回答するとともに、政策へ反映するよう行政へ働きかける等、議員一丸となり取組ませて頂きました。また、町政全般に亘る意見については、それらを活かすべく、各委員会での審議や一般質問に取り上げる等致しております。ご意見を全議員の課題として共有すると共に、町民皆様方の生活の向上と町政のより良い

展開を目指し頑張りたいと考えております。今後も定例会終了毎に可能な限り、『語ろう会』を開催させて頂けたらと考えております。今年は先ず、1月下旬から2月中旬にかけて6集落を予定しております。これからも開催にご協力のほどよろしくお願い致します。

また美浜町議会基本条例の制定へ向け、現在草案づくりに着手致しております。私たち美浜町議会に対し、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
(兵庫記)

市町議会議員 合同研修会

衆議院解散の的中に唖然

去る10月27日、福井県自治会館に於いて市町議会議員合同研修会が催されました。法政大学教授廣瀬克哉氏から「地方自治改革の課題」と題し、議会改革の背景となっている自治体への権限委譲と縮小時代に入った自治体経営について、議会の果たすべき役割について講演を頂きました。

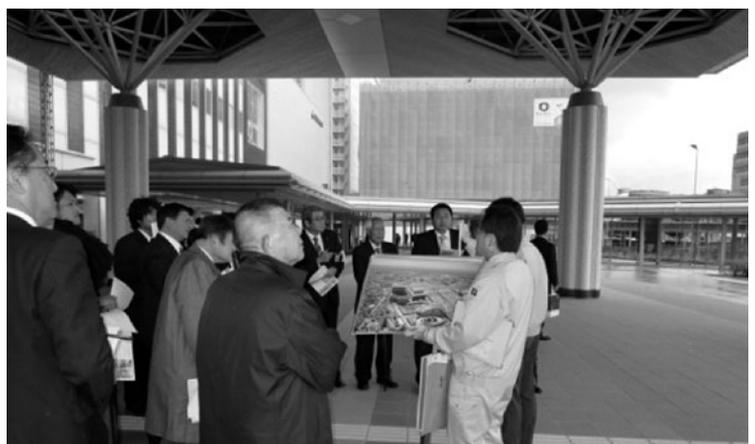
続いて「これからの日本の政治」と題

し、政治ジャーナリスト泉宏氏の講演を頂きました。同氏は永田町・霞ヶ関で政治を見続けて41年、仲間内では「永田町の化石」と呼ばれている方です。その講演では、「過去の政治情勢から、今の政治の動きを見ると、早ければ11月にでも衆議院の解散が有り得る」と述べられました。私たちは『まさか?』という反応でしたが、現実になりました。講演時では多くの国会議員ですらその大事を掴みきっていない中で、泉氏の情報収集能力には感心させられました。
(兵庫記)

敦賀美浜地域 開発協議会視察

敦賀美浜地域開発協議会視察

11月14日(金)、金沢市の北陸新幹線開業に向けた取り組みについて視察しました。まず、市役所において概要説明を受けた後、金沢駅東広場を見学しました。この施設は、全体面積2万7千平方メートルで総事業費173億円をかけ、平成17年3月に完成しました。広場で最も目を引くのが鼓門です。能楽加賀宝生の鼓をデザインし金沢の伝統文化を表現し



金沢駅視察の様子

たもので、米国旅行雑誌の世界で最も美しい駅14駅の中に選出されています。今金沢は平成27年3月14日、東京と金沢間を2時間30分で結ぶ北陸新幹線の開業に向け、さまざまな取り組みで観光客を呼び込もうとしています。

その後、観光協会のボランティアガイドの案内で美しい出格子のある古い町並み、ひがし茶屋街を見学しました。多くの観光客が訪れていて、金沢の古い文化と新しいものが見事に調和した都市を視察し、美浜町も町並みや文化を大切にしたい取り組みが必要と感じました。(野瀬記)

組合議会

【公立小浜病院組合議会】

公立小浜病院について

公立小浜病院組合議会は、平成26年度補正予算(第2号)及び一般職の職員の給与に関する条例の一部改正についての2議案が上程され、12月26日の議会においてすべて可決いたしました。

また、11月15日に若狭、美浜両町の病院議員に対し、レイクヒルズ美方病院に



レイクヒルズ美方病院

おいて事前説明があり、その中で、耳鼻咽喉科の専門医、小嶋章弘医師が10月から常勤となり、医師の充実が図られたこと、本年4月から新たに介護予防通所リハビリテーション事業を開始することの説明を受けました。リハビリテーション機器は、他の病院にも負けない機器が揃えてあり広々としていますので、今後の事業の展開に期待したいと思います。

(野瀬記)

【美浜・三方環境衛生組合 議会定例会】

平成25年度決算の認定する

12月1日、10時から第3回美浜・三方環境衛生組合議会定例会が、開催されました。

議案は、「平成25年度美浜・三方環境衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について」の1議案であり、全員賛成で承認しました。

また、組合施設は、平成22年度より完全包括管理業務委託に移行し、5年目に入ったが大きなトラブルも無く、処理機能の維持ができ、順調に運転を続けているとの報告を受けました。

併せて「美方し尿処理場」の更新施設となる「美方汚泥再生処理センター」整備事業については、美浜町内に整備計画予定である旨の報告もありました。

(山口記)



エコクル美方

【敦賀・美方消防組合議会】

きめ細かい消防団構成を

平成26年第3回敦賀美方消防組合議会定例会は12月25日消防本部で開催されました。議案は監査委員変更に伴う人事案件1件と、平成26年度一般会計補正予算、人事院勧告に伴う職員の給与改正及び、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定の4件でいずれも採択されました。さらに一般質問で地域消防団員の継続的確保と地域防災活動の見直し、整備を実施する事について管理者の考えを聞いて閉会しました。

(浜野記)



美浜消防団小型ポンプ操法大会の様子

東郷町視察 来町(10月21日)

東郷町議会が美浜町を視察

ボートを通じた活性化と町づくりについて愛知県東郷町議会議員5名が美浜町に視察に来られました。美浜町と同じく町内にボートコースを持ち、町民レガッタを開催している町として「ボート競技の普及振興策について」互いの活動報告や意見交換をしました。競技レベル・運営レベル・町民の熱の入り方について、美浜町の活動レベルは全国トップクラスであり、「ボートの町・美浜町」を今後の国体に向けさらに高めていく必要性を感じました。

第9回 全国原子力発電所 立地議会サミット開催

このサミットは平成9年に発足し「原子力発電所が立地していることにより波及する様々な問題について、立地自治体議会が調査研究・協議、あるいは提言すること」を目的に、2年に一度開催されています。

今回は11月18日～19日にかけて品川プリンスホテルにて「エネルギー政策と原子力発電～フクシマ復興の諸課題と立地自治体の振興～」をテーマにサミットが開催されました。初日は、基調講演と分科会（1～5分科会）が行われ、「福島原発事故の現状と地域の再生」「原子力発電所の安全対策と防災計画」「エネルギー安全保障と原子力発電」「高経年化対策と核燃料サイクル」「原子力発電所立地自治体の地域振興」について、各分科会で活発な意見が交わされました。2日目は各分科会報告の後、今大会の大会宣言を行い閉会となりました。

分科会報告の主なものを記載します。

○国と原子力規制委員会は、ともに責任回避しているように見える。国が責任を明確にし、安全を担保すべきである。



第9回原子力サミット（全体会）

○将来的には原発依存度を下げ、再生可能エネルギー利用へのシフトが望ましいが、自然エネルギーの不安定性を考慮したベストミックスを考えるべきである。

○国は生活再建に向けて被災者の意見に耳を傾けるとともに、福島状況を積極的に全国に伝えるべきである。産業やエネルギーばかりを言うのではなく、福島事故の反省点から始まるべきだ。国が推進した原発であり、

生活再建に向けた将来計画を明確にしてほしい。

○核燃料サイクル及び放射性廃棄物の最終処分の基本方針は、国が責任をもって国民に説明するとともに、高レベル放射性廃棄物の処理に係る技術開発を推進すべきである。

○原子力発電が停止している状況では、地域経済がますます疲弊していく。国は立地自治体の苦勞を知り、前面に立つて真剣に住民合意に持つていくべきだが、原発は年数がたてばいずれ廃炉になることから、今後廃炉に対する議論が必要だ。
（竹仲記）



第9回原子力サミット（第5分科会）

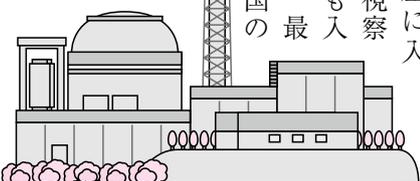
原子力発電所特別 委員会（12月12日）

原子力発電所特別委員会現地視察（独立行政法人 日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ）

平成26年12月12日に、敦賀市白木にある高速増殖原型炉もんじゅを、原子力発電所特別委員会で視察しました。最初に原子力災害制圧道路工事の白木入口を見学した後、総合研修施設の研修棟で、もんじゅの改革等について説明を受けました。次にナトリウム取り扱い研修棟において、ナトリウムの切断・燃焼実験を体験しました。また燃焼状況の観察や消火器を使った消火訓練、容器・配管・機器等で構成されるナトリウムループの運転訓練等ができる施設を視察しました。

その後、原子炉建屋に入り中央制御室を窓から視察し、タービン建屋内にも入り状況を確認しました。最後に質疑応答があり、国の保安措置命令解除に向け、鋭意努力しており、出来れば26年度末解除を目標としていることでした。

（川畑記）



議会の動き

10月2日	町村監査功労表彰及び町村監査委員全国研修会(3日)
6日	県原協理事會
9日	町村議会知事要望
16日	県原協中央要望
25日	若狭地方町村議会交歓球技大会
27日	市町村議会議員合同研修会
11月1日	議会と語ろう会
6日	嶺南市町議長会要望
10日	第7回町議会臨時議会
11日	福井県原子力環境安全管理協議会
12日	福井県後期高齢者医療広域連合議会
14日	第58回全国議長大会
18日	敦賀美浜地域開発協議会視察研修
25日	第9回全国原子力発電所立地議会サミット(19日まで)
27日	全員協議会
12月1日	公立小浜病院組合議会
4日	美浜三方環境衛生組合議会
4日	第8回美浜町議会定例会(全協・本会議)
8日	第8回美浜町議会定例会(一般質問)
10日	予算決算常任委員会
11日	総務文教常任委員会
11日	産業厚生常任委員会
12日	原子力発電所特別委員会もんじゅ視察
15日	現地視察
16日	議会活性化特別委員会
18日	第8回美浜町議会定例会(全協・本会議)
25日	嶺南広域行政組合 全員協議会・本会議
25日	敦賀美浜消防組合議会
26日	公立小浜病院組合議会(最終日)

第27回美浜町民レガッタ開催 (10月18日・19日)

議会議員の部

今大会は、過去最多の263クルーが出場し、交流部門では議会議員の部が新設されました。

議会議員の部では、美浜町議会の「三方五湖」と「水晶浜」の2チームが参加。その他にも津幡町議会(石川県)、若狭町議会の参加があり計4チームで競技を楽しみました。

今後も参加していただける議会を増やし、美浜町をPRしていきたいと思えます。美浜町が「ボート競技の聖地」として誇れるのは、町民の皆様が作り上げてきた大会の歴史があるからです。

議会としても皆様と共に大会を楽しむことで、町の発展に尽力し、平成30年の福井国体に向けて頑張ります。
(河本記)



優勝した「三方五湖」クルー

若狭地方町村議会議員 交歓球技大会(10月25日)

平成30年開催の福井国体グラウンドゴルフ場である若狭町会場で行われました。当日は、見事に晴れわたり素晴らしい大会日和で、各町との良い議員間交流が出来ました。普段スポーツとは無縁の方もいるかと思えますが、勝ち負けだけでなく、これを機会にそれぞれ健康に関心を持ち、議員相互の親交を深め、地域の活性化に大きな原動力としていきたいと思えます。

(辻記)



開会式の様子

後記

近年には珍しく、雪のお正月となりました。昨年12月初めの雪にはビックリさせられました。ドカ雪にならずホッとしました。

4日には表紙の消防出初め式が行われ、赤・青・紫の色水が孤を描き一年の防災を誓いました。

議会も心新たに政策の提案とチェックに頑張りますので、町民皆さまのご指導・鞭撻を宜しくお願い申し上げます。
(辻記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】辻井 雅之 【委員】崎元 良栄・藤本 悟
【副委員長】川畑 忠之 松田うめ子・飯田 豊